

衆議院原子力問題調査特別委員会ニュース

平成 26. 4. 17 第 186 回国会第 3 号

4 月 17 日（木）、第 3 回の委員会が開かれました。

1 原子力問題に関する件

- ・赤羽経済産業副大臣、井上内閣府副大臣、磯崎経済産業大臣政務官、田中原子力規制委員会委員長及び政府参考人並びに参考人に対し質疑を行いました。

（参考人）東京電力株式会社代表執行役副社長

相澤善吾君

（質疑者及び主な質疑内容）

宮澤博行君（自民）

- ・自治体と原子力事業者が任意に締結する原子力安全協定について、国が全国の締結状況を把握すべきだと考えるが、その意思があるのか磯崎経済産業大臣政務官に伺いたい。
- ・原子力災害発生時における避難計画について、県外への避難が必要な場合の策定が難しいとの声が対象自治体から出ているが、国はどのような支援を行っているのか内閣府に伺いたい。

渡辺孝一君（自民）

- ・原子力発電所の停止により火力発電への依存度が高まっているが、原発の稼働停止が長期にわたる場合、老朽化した火力発電所の維持や改修について政府としてどのような支援策を考えているのか、経済産業省に伺いたい。
- ・原子力発電所に係る新規規制基準への適合性審査について、なぜ九州電力川内原子力発電所（以下「川内原発」という。）を優先して審査することとしたのか、また、人員や組織の面で現在の審査体制で十分と考えているのか、原子力規制庁に伺いたい。

笠井亮君（共産）

- ・東京電力福島第一原子力発電所（以下「福島第一原発」という。）における深刻な汚染水問題及び同問題に対する原子力規制委員会の取組方針について田中原子力規制委員会委員長（以下「田中委員長」という。）に伺いたい。
- ・川内原発で水素爆発が起きる可能性がないとする九州電力の解析結果に対する評価及び原子力規制委員会がクロスチェックを実施する必要性について、田中委員長の見解を伺いたい。

山内康一君（みんな）

- ・原子力発電所内の警戒・警備は、事業者が委託した民間警備会社が行っているが、その質は良くないと言われている。国が統一的基準やマニュアルを策定して、民間警備会社の警備水準を高めるべきであると考えているが、原子力規制庁の見解を伺いたい。
- ・原発のテロ対策や核セキュリティ対策の重要性について、田中委員長の見解を伺いたい。

荒井聰君（民主）

- ・函館市が提訴した電源開発株式会社大間原子力発電所（以下「大間原発」という。）の建設差止訴訟の法的影響について原子力規制庁の見解を伺いたい。併せて、函館市が指摘する大間原発の 6 項目の問題点について原子力規制庁及び経済産業省に事実関係を確認したい。
- ・全炉心でウラン・プルトニウム混合酸化物（MOX）燃料を使用するフル MOX 炉となる予定の大間原発と現在適合性審査が行われている軽水炉とで規制基準の内容に違いがあるのか、原子力規制庁に伺いたい。
- ・米国では、州や地方政府が作成した原発事故発生時の避難計画を国が審査することとなっている。しかし、日本では国による避難計画の審査はなく、作成主体である地方自治体に委ねられているが、この点についての井上内閣府副大臣の見解を伺いたい。

小熊慎司君（維新）

- ・福島第一原発における汚染水対策の今後の取組方針と東京電力以外の国の機関等が直接対策を行う必要性について、経済産業省に伺いたい。
- ・学校における福島第一原発事故に関する教育への取組と教育に際して客観性を確保するための取組について、文部科学省に伺いたい。
- ・福島第一原発における凍土遮水壁の実施計画について

の調整状況と本年6月に予定されている本格実施が延期される可能性について、原子力規制庁の見解を伺いたい。

椎 名 毅君（結い）

- ・3月28日、福島第一原発において作業員の死亡事故が発生したことに鑑み、東京電力が講じた労働災害を防止するための安全性の確保策を相澤東京電力副社長に伺いたい。
- ・今月、同原発で発生したポンプの誤作動による汚染水の誤移送事故について、周辺環境や作業員等への影響を相澤東京電力副社長に伺いたい。

玉 城 デニー君（生活）

- ・将来、我が国の人口が減少し、省エネ等の取組が促進されることで、エネルギーの総需要が減少することが予測されるが、第4次エネルギー基本計画（平成26年4月11日閣議決定）において今後のエネルギーの需要及び供給をどのように捉えているのか、赤羽経済産業副大臣に伺いたい。
- ・福島第一原発事故の責任が問われ続け、高レベル放射性廃棄物の最終処分問題が解決していない現時点において、同計画において引き続き原子力を活用するとした理由を赤羽経済産業副大臣に伺いたい。